

## 利根川上流ダム群の貯水状況について

### 記者発表資料

### 【利根川上流6ダムが満水となりました】

首都圏の水源である利根川上流6ダム(矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、菌原ダム、草木ダム)の貯水量が、4月16日0時現在、満水の状態になりました。(6ダム合計有効貯水容量3億1,523万m<sup>3</sup>の99%の貯水率)

この結果、東京都を始め首都圏の1都5県(千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県)の水源となっている利根川上流8ダムの合計貯水量は3億9,607万m<sup>3</sup>が確保されている状況です。

利根川沿川は、今後、農業用水を始めとする水需要が増大していく時期となります。当事務所では、引き続き関係機関と連携し、きめ細かいダム運用を行って参ります。

限りある貴重な水資源の有効利用と、日頃からの節水にご協力をお願いいたします。

平成21年4月16日(木)

国土交通省 関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所

発表記者クラブ	
竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会	刀水記者クラブ

問い合わせ先	
国土交通省 関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所	
〒371-0846	前橋市元総社町593-1
副所長(技術)	佐藤 勝
広域水管理課長	吉澤 拓実
電話(代表)	027-251-2021
広域水管理課	027-251-2271



【参考資料】

1. ダム群の状況

利根川上流6ダムは平年より早い満水となっていますが、今後の降水量によっては、ダムの貯水量が著しく低下していく可能性もあります。利根川上流8ダムは、効果を最大限に発揮するよう、一元的にコントロールする「統合管理」を行っており、当事務所では、引き続き関係機関と連携し、きめ細かいダム運用を行って参ります。

なお、神流川の下久保ダムでは、流域に降雪がほとんどなく、降水量が少ないことから、貯水量は7,077万m<sup>3</sup>(貯水率59%)にとどまっています。

渡良瀬貯水池は、干し上げ後の貯水に努めており、貯水量は1,114万m<sup>3</sup>(貯水率42%)に回復しています。

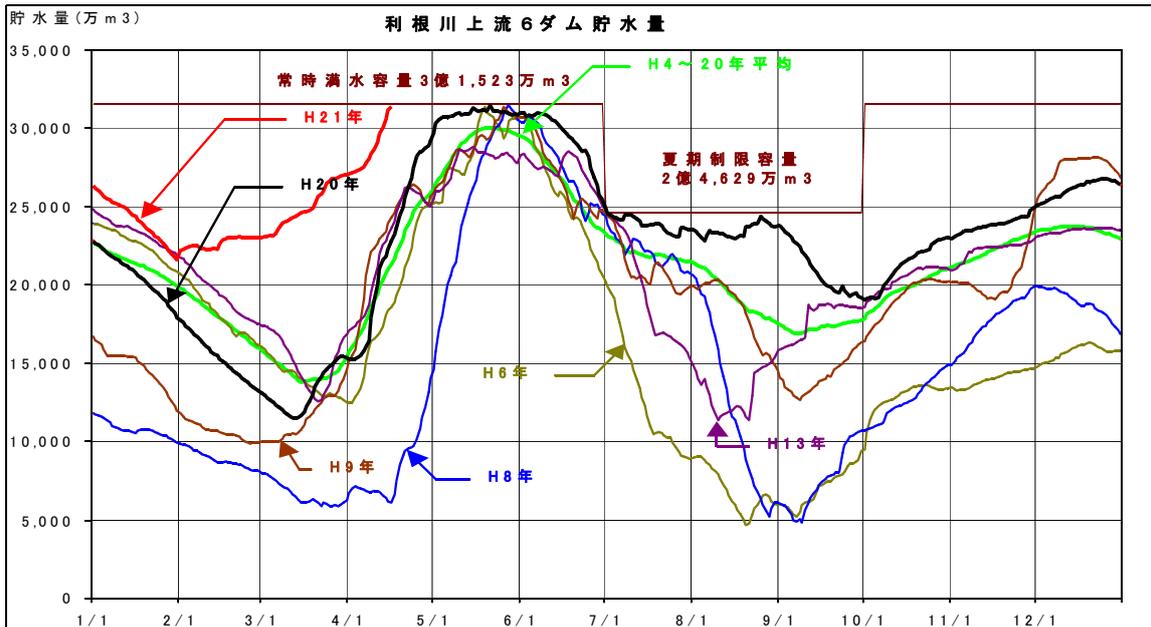


図-1 利根川上流6ダム貯水量図

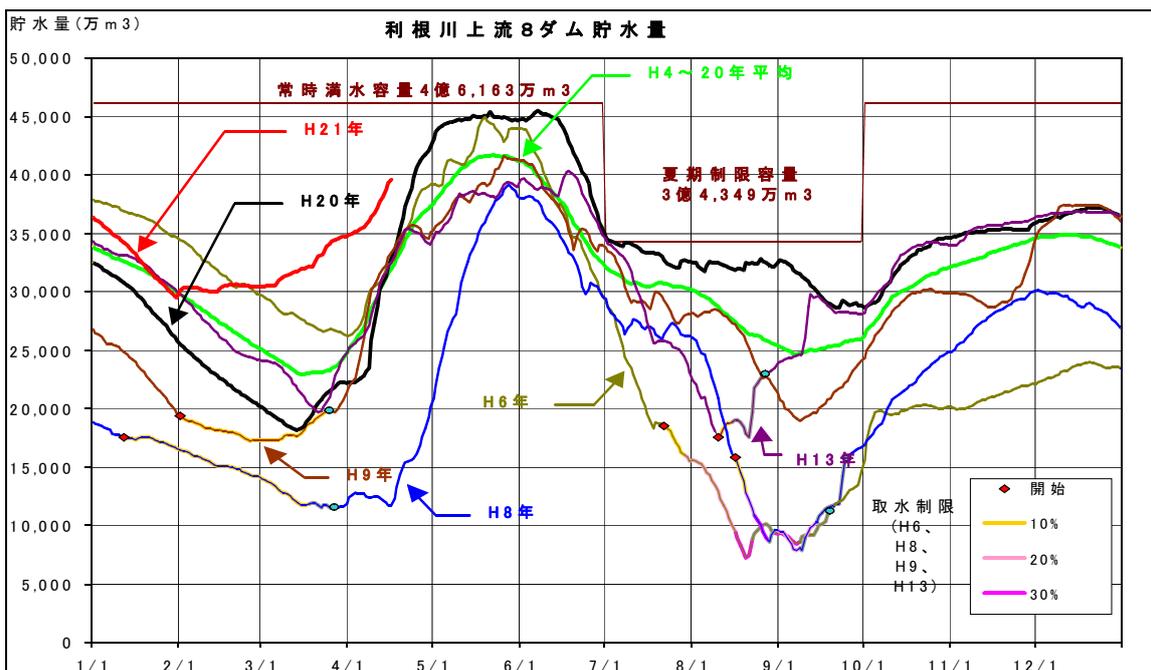


図-2 利根川上流8ダム貯水量図

## 2. 降水量の状況

栗橋上流域平均降水量の月合計値は、1月は86mm(平年の200%) 2月は36mm(平年の77%)、3月は67mm(平年の102%)と1月の降水量が大きく影響し平年の約1.2倍の量となっています。また、4月は15日までに41mm(4月合計平年の46%)の降水量となっています。

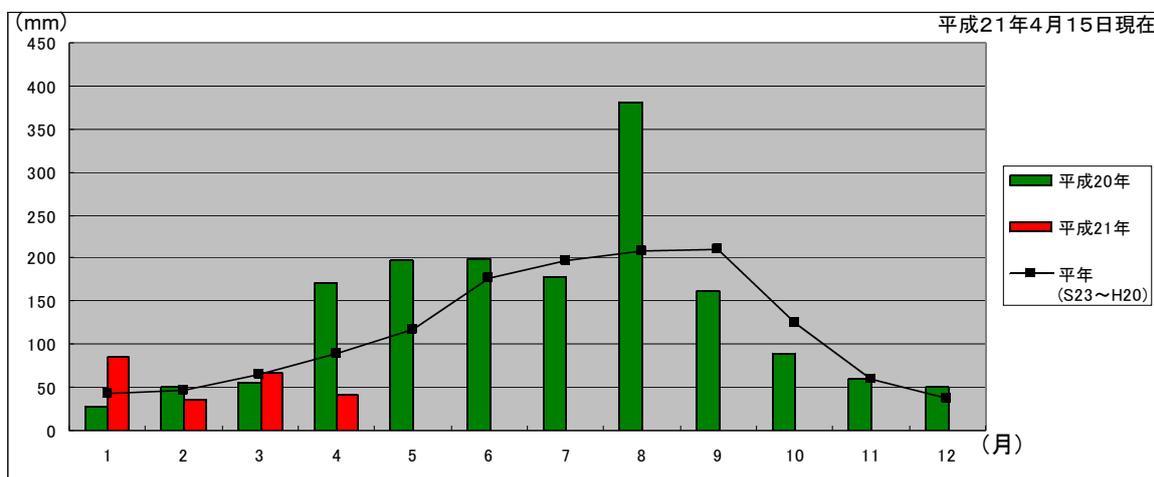


図-3 栗橋上流域平均降水量(月計)

表-1 栗橋上流域平均降水量(月計)

単位(mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏渇水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	"
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	"
平成8年	26	36	70	48	98	117	155	78	217	80	55	23	1,003	利根川冬夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏渇水
平成20年	28	50	56	172	198	199	178	382	162	89	59	50	1,623	
平年比	65	106	85	193	168	113	90	183	77	72	100	135	118	
平年 (S23~H20)	43	47	66	89	118	176	197	209	211	124	59	37	1,376	
平成21年	86	36	67	41									230	
平年比	200	77	102	46									17	

平成21年4月15日まで

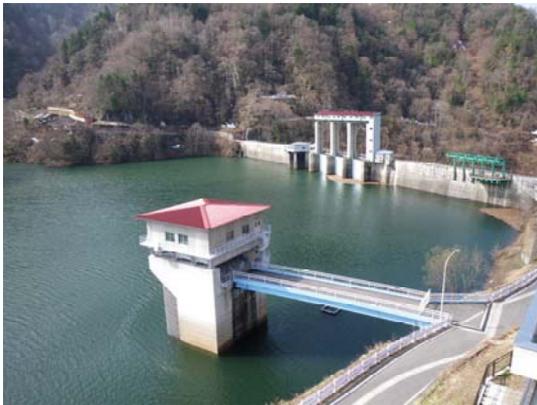
※      利根川取水制限実施月(一時緩和含む)

※ 栗橋上流域面積 8,588km<sup>2</sup>

□ 満水状況写真(4月16日撮影)  
矢木沢ダム



藤原ダム



菌原ダム



奈良俣ダム



相俣ダム



草木ダム

